

県立子ども療育センター『児童・思春期病棟』の開設について

現 状

児童・思春期患者は全国的に増加しており、愛媛大学医学部附属病院子どものこころセンターの受診児童（患者）も6年前の約2倍
《深刻化する思春期児童の心のケア》

課 題

本県には児童・思春期専門の病床がないことから、児童・思春期患者は県内の精神科病院や県外の専門病院に入院
《県内で専門的な医療提供体制整備が必要》

県内初の
児童・思春期病棟を整備

心に不安を抱える児童に対する専門的な医療提供体制の充実

整備による効果

- 成長段階に応じた適切な医療提供
- 早期治療による重症化等の低下
- 将来の社会参加機会を促進
- 心に不安を抱える児童や家族が安心して生活できる環境の構築



健康増進課
089-912-2403

県立子ども療育センター『児童・思春期病棟』の開設について

整備概要

- 建設場所：東温市田窪2119-2
- 整備内容：新築工事（鉄骨造3階建） 約2,734m²
子ども療育センター本棟内への外来環境の整備
- 診療機能：病室は20床（全個室）、外来は週5日（平日）
- 学習支援：入院中の学習に配慮し院内学級を設置

人員体制

- 医師3名、看護師20名
精神保健福祉士1名、公認心理師1名、作業療法士1名、管理栄養士1名

